

# パーソナリティ・アセスメント<入門>

\*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:2017年7月1日~2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 日：2019年11月30日(土)・12月1日(日)

受講対象：臨床心理士・公認心理師・スクールカウンセラー・相談員等またはそれらを目指している方、病院・学校・児童相談所・矯正施設・福祉施設の各現場に関わっている専門家、及び興味のある方で、心理アセスメントについて学ぼうとする初心者

定 員：80名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料：13,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 ☎03-3986-7021

会場：明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

臨床現場で心理アセスメントに求められているのは、クライアントが抱えている心理的問題を個別に的確に把握し理解することです。それには、クライアントひとりひとりに適した複数の心理テストを選び組み合わせ、多面・多層的に評価することが必要です。しかし残念ながら、複数の心理テストを本格的に学び実習するような研修の機会はなかなかありませんでした。そのため、2003年度から『パーソナリティ・アセスメント講座』と題し、本財団では、心理臨床で多用されている色々なテストを順次取り上げ研修講座を始めました。この「入門講座」ではまったくの初心者を対象に、基礎的知識と実施法、解釈法を学びます。

今回も心理臨床の場で広く採用されており、その習得にはていねいな学習を必要とするSCT(文章完成法)を1年ぶりに取り上げました。このSCTは、本講座では入門講座と中級講座をほぼ隔年ごとに開講しております。また日本で開発され、バウムテストと並んで我が国での代表的な描画法となっている風景構成法を久しぶりに開講します。そして日本における使用頻度は米国ほど高くはないのですが、心理アセスメントとして国際的に採用されている投影法の代表的検査であるTATをテーマとして取り上げました。最近のナラティブ・アプローチとの関連で関心が持たれています。個別の検査ではなく主要なテーマをめぐるアセスメントとして、今回家族アセスメントとして亀口先生にご講義いただくことになりました。本講座での家族心理臨床は久しぶりのテーマとなりますが、親子や夫婦をめぐる心理的問題を理解する上でたいへん有用だと思います。

講師には、その分野にたいへん経験豊かな専門家をお願いしました。受講者の皆さんには、本講座を通して心理アセスメント力を高めるきっかけを作っていただければ幸いです。なお、これまでは講座の最初に行っていました総論を最終日に移し、受講者からのご意見や質問を受ける時間を設けることにしました。

【企画講師 小川 俊樹】

|       | 日程        | 時間          | テーマ                    | 講師(敬称略)                 |
|-------|-----------|-------------|------------------------|-------------------------|
| プログラム | 11月30日(土) | 13:00~15:00 | SCT(文章完成法)             | 大妻女子大学 名誉教授<br>深津 千賀子   |
|       |           | 15:15~17:15 | 家族アセスメント               | 国際医療福祉大学大学院 教授<br>亀口 憲治 |
|       | 12月1日(日)  | 10:00~12:00 | TAT                    | 明治大学 教授<br>高瀬 由嗣        |
|       |           | 13:00~15:00 | 風景構成法                  | 東洋英和女学院大学 教授<br>福田 周    |
|       |           | 15:15~16:30 | パーソナリティ・アセスメントをめぐる(総論) | 放送大学 客員教授<br>小川 俊樹      |

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。